

まち未来だより

2018 March 3月 発行
宜野湾市基地政策部まち未来課

「まち未来だより」では、普天間飛行場の跡地利用に関する取組みについてお伝えします。

1.「普天間飛行場跡地 児童・生徒絵画コンクール」を開催しました

1-1. 目的

普天間飛行場返還後のまちづくりに向けて、将来を担う市内小中学校の児童・生徒が夢のある宜野湾市の未来を考えるきっかけとなることを目的に「普天間飛行場跡地～ゆめのあるぎのわんのみらい～絵画コンクール」を開催しました。

1-2. 募集作品テーマ

「こんなふうになったらいいな♪わたしのえがくぎのわんのみらい」
普天間飛行場返還後のまちづくりについて、応募者が考えるぎのわんのみらいのイメージを描いた作品を募集したところ、558 作品の提出がありました。

1-3. 選考方法

学校審査で選定された118 作品の中から、審査委員会において絵画的技術のみならず、返還後の跡地利用におけるアイデア、作者の思いなどを総合的に評価し、42 点の入賞作品が選定されました。



大賞
↑ 普天間小学校1年 山田 晴
「まいにちががハッピーなまち」



大賞
↑ 宜野湾小学校5年 渡慶次 彩人
「新しい宜野湾市～笑顔いっぱい～」



金賞
↑ 真志喜中学校2年 奥野 英翔
「電車と一緒に」



金賞
← はごろも小学校3年 宮良 侑子
「とってもハッピー宜野湾市」

3. 先進地視察で普天間飛行場跡地のまちづくりに向けて知識を広げています

3-1. 先進地視察会

今年度は、「活発なまちづくり活動団体」と「多様な拠点(テーマ)のある国営公園」の2つをテーマとして、愛知県と岐阜県、三重県、滋賀県を訪れました。

◆NPO 法人 なごや東山の森づくりの会

概要… オリンピックスタジアムの建設候補地となることに反対を唱えた市民の自然調査活動等をきっかけに発足した組織です。現在は、市民・行政・企業と協働で東山公園と平和公園の保全・管理活動を行っています。



小学校が終わった後、児童達が公園で魚取り等を楽しんでいる様子

学んだこと… 子どもが楽しめる活動だと家族単位で参加するので参加者を集めやすいが、参加者が増えると運営側の負担も増えるので、組織の運営体制も考える必要があること等を学びました。

◆NPO 法人 彦根景観フォーラム

概要… 都市開発や整備事業が進む中、美しい自然環境と歴史的遺産を持つ城下町彦根のまち並みを保全し、活用していくための取組みを行っている組織です。



表参道の通りで、歴史的な景観を保全するまち並みの様子

学んだこと… 街並み保全活動に関するアイデアの発掘や情報収集・発信、参加者を増やすための取組みとして、大学や商工会、商店街連盟など様々な団体と連携する必要があること等を学びました。

◆国営木曾三川公園

概要… 愛知県、岐阜県、三重県にまたがる日本一大きな国営公園で、河川沿いの各13 拠点に『河川の広大な空間と豊かな自然』『水上スポーツ』など、それぞれテーマが設定されています。季節ごとに様々なイベントが開催され、年間約1千万の方が来園します。



ボランティアによる地域の歴史文化に関する学習プログラムを実施している様子

学んだこと… 市民団体と協働で市民花壇の手入れやイベント運営などに取組むことにより、来園者数の増加が図られていること等を学びました。

3-2. 勉強会

【講師】国土交通省中部地方整備局建政部公園調整官 笠間 三生 氏
【テーマ】国営木曾三川公園事業について

目的…国営木曾三川公園の視察の前に、公園事業に詳しい国土交通省職員を招き、勉強会を開催しました。

学んだこと…公園を住宅に例えると、海外や国内の観光客をもてなす「応接間としての公園」と、地域住民や誰もが訪れて楽しめる「リビングとしての公園」に分かれ、公園をつくる時は、地域の現状や目的を考える必要があることを学びました。また公園づくりの計画段階から、公園の活用方法に関して市民も参画することが良いと学びました。



【「まち未来だより」発行元】

宜野湾市役所 基地政策部 まち未来課
電話 098-893-4401 (直通) FAX 098-892-7022
普天間飛行場跡地利用に係る情報は、宜野湾市ホームページや情報提供窓口 千901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩一丁目1番1号(宜野湾市基地政策部まち未来課)でも提供しております。情報収集や跡地利用に係る要望・ご意見を述べる場としてお気軽にご活用ください。

2. ねたてのまちベースミーティング (NBミーティング) の活動紹介

2-1. 活動目的

本組織は平成 18 年度に発足し、周辺市街地のまちづくりを含めた普天間飛行場の跡地利用を市民目線で考えるため、月 1 回の定例会の中で検討を行い、また他団体との意見交換などの対外的な取組みを行っております。

2-2. 普天間飛行場の跡地利用とは

沖縄県と宜野湾市は共同で普天間飛行場跡地のまちづくりの検討を進めており、平成 25 年 3 月に普天間飛行場跡地利用計画の策定に向けた「全体計画の中間取りまとめ」を策定しました。(配置方針図は右図参照) 普天間飛行場の跡地利用計画の検討状況をイメージ出来るプロモーションビデオ (PV) は下記 URL から視聴出来ます。

<http://www.pref.okinawa.jp/futenma-mirai/>



2-3. 今年度の検討テーマ

次年度の「NBM まちづくり策定」に向けたテーマの選定

2-4-1. 対外的な取組み① (各種団体との意見交換会)

普天間飛行場の跡地利用について、市民はどのような関心事があるかを把握する為に、市内団体を訪問し現在の跡地利用計画等 (2-2. 普天間飛行場の跡地利用とは参照) の説明を行い、頂いた意見をまちづくりのテーマ毎に整理しました。



くがに会での意見交換の様子



我如古区地域支え合い活動委員会での意見交換の様子

【くがに会】

- 開催日時：平成 29 年 5 月 23 日 (火) 15:00 ~ 16:00
- 開催場所：赤道老人福祉センター
- 参加人数：15 名

【我如古区地域支え合い活動委員会】

- 開催日時：平成 29 年 8 月 15 日 (火) 14:00 ~ 15:00
- 開催場所：我如古区公民館
- 参加人数：12 名

緑・公園

●跡地に大きな公園をつくっても収入にならず、地権者は建物を建てた方が良くと思う。(くがに会)

住宅地

●道路は中部縦道路、宜野湾横断道路が示されていたが、他に数本通した方が良い。(くがに会) ●飛行場跡地が整備されたら既存集落に高齢者しか残らない可能性が考えられるので、そうならないよう十分に検討頂きたい。(我如古区地域支え合い活動委員会) ●跡地と周辺市街地を同時に開発して頂きたい。(我如古区地域支え合い活動委員会)

振興拠点

●PV の中に国際都市というキーワードがあったが、国営公園等を整備する事と、国連など国際的な機関の本部を誘致する事で、世界中から人々が集まり、国際的な施設があることで他国から攻撃されないなど安全となる。そういった機関の誘致を検討してもらいたい。(我如古区地域支え合い活動委員会)

2-4-2. 対外的な取組み② (新都心周辺の住民との意見交換会)

基地返還後の跡地利用がどう周辺市街地に影響を与えるのか知るために、昭和 6 2 年に全面返還し開発された、那覇新都心地域の周辺住民と意見交換を開催し、頂いた意見をまちづくりのテーマ毎に整理しました。

- 開催日時：平成 29 年 12 月 19 日 (火) 19:00 ~ 21:00
- 開催場所：那覇市上下水道局庁舎 B 棟 3 階「厚生会館」
- 参加人数：9 名

緑・公園

●公園は、環境・健康面で非常に役立っている。車が入れず子供の安全な遊び場となる。他にも公園はあるが、ちょっとした遊び場や防災の面でも役立つ。(安里 2 区自治会) ●法的に必要な公園緑地面積プラスで大きな公園緑地面積が確保できれば良いと思う。(安里 2 区自治会)



那覇新都心地域周辺住民との意見交換の様子

住宅地

●安謝地域では整備前は床上浸水があったが、新都心が整備され浸水被害が少なくなった。(安謝自治会) ●交通量が非常に増え、危険性が増した事と騒音の問題がある。(安謝自治会) ●地価が上昇した事は良いが、経営者でない人は税金(固定資産税)が上がって大変である。(安謝自治会) ●地域外に道路が新設され交通の便が良くなり、抜け道としての地域内通過交通が減った。(安里 1 区自治会) ●安里 2 区は地区中央に都市計画道路が整備された事で、地域が分断された。(安里 2 区自治会) ●新都心ができた事で学区が再編され、子供会もなくなり、地域に住んでいる子どもたちとの関係も変わった。(安里 1 区自治会)

2-4-3. 対外的な取組み③ (まちづくりゆんたくセッション)

普天間飛行場返還後のまちづくりが周辺市街地にどのような影響を与え、地域がどう変化するかを考えるため、「まちづくりゆんたくセッション」(本セッション)を開催しました。セッションでは、参加者が 2 グループに分かれて、これまでの対外的な取組み (①②) で得られたまちづくりのテーマ毎に将来のまちづくり像について考えました。

○開催日時：平成 30 年 3 月 4 日 (日) 13:00 ~ 17:00 ○開催場所：宜野湾市社会福祉センター ○参加人数：22 名

作業1 宜野湾市の現状を整理する。



宜野湾市の現状について整理している様子

初めに自己紹介と合わせて参加者の思い入れのある場所 (自宅など) をシールで貼り、続いて参加者の記憶をもとに身近な地域にある緑・公園や学校等を地図に記しました。また、住宅が密集する地域や狭小道路のある複雑な道路網、普天間飛行場西側の斜面緑地の状況など Google Map を使用し、参加者全員で確認しながら地図に記していき、宜野湾市の現状を整理していききました。

作業2 跡地開発による周辺市街地への影響の可能性を考える。



レゴブロックを使用したシミュレーションを通して周辺市街地への影響を考えている様子

白地図上にレゴブロックを使用して、各グループ内で住民役と跡地開発役に分かれて周辺市街地や開発道路等のモデルを作り、跡地開発時のシミュレーションを行いました。まず、住民役が周辺市街地の住宅地や商業地の現況モデルを作り、続いて跡地開発役が跡地内から通る開発道路を作ることで、住宅の配置や商業施設の立地がどう変化するか、検討しました。また、跡地開発役が跡地内に区画整然とした住宅地を作ることで、周辺市街地の住宅地モデルを作った住民役は、まちなみを比較してどう感じるかを考えました。

作業3 今後どのようなまちを作っていきたいか話し合う。



将来のまちづくり像についての話し合いの様子

跡地開発による周辺市街地への影響を踏まえて、「緑・公園」「住宅地」「振興拠点」の枠組みでまちづくり像について意見交換を行い、最後にグループ代表が発表しました。

まちづくり像のまとめ

緑・公園

●スポーツ施設等を配置し、大きな大会が出来るような場を創出して宜野湾市の活性化に繋げてほしい。●子供や大人が楽しめる安心・安全な場となしてほしい。●若者が生き生き出来る場となしてほしい。●小さい公園を多く作り、防災拠点に活用できるような公園になってほしい。

住宅地

●「跡地」だけでなく、「宜野湾」開発を目指してほしい。●新興住宅地のルール等を設定し、隣同士快適に過ごせる住宅地になってほしい。●地域内の交流が図れるイベントなどが行えるコミュニティの形成がなされてほしい。●立ち退きの人も団地立て直し等の際にそこに移動できると理想的。

振興拠点

●中心に商業圏において宜野湾市全体で盛り上げられるようになってほしい。●宜野湾らしさを大切に振興拠点の形成。●文化財、遺跡を大事に活かした振興拠点の形成。



グループから出た意見発表の様子